

# 新潟県新潟市の大学生を対象とした10年間の アレルギー性鼻炎に関する定点調査

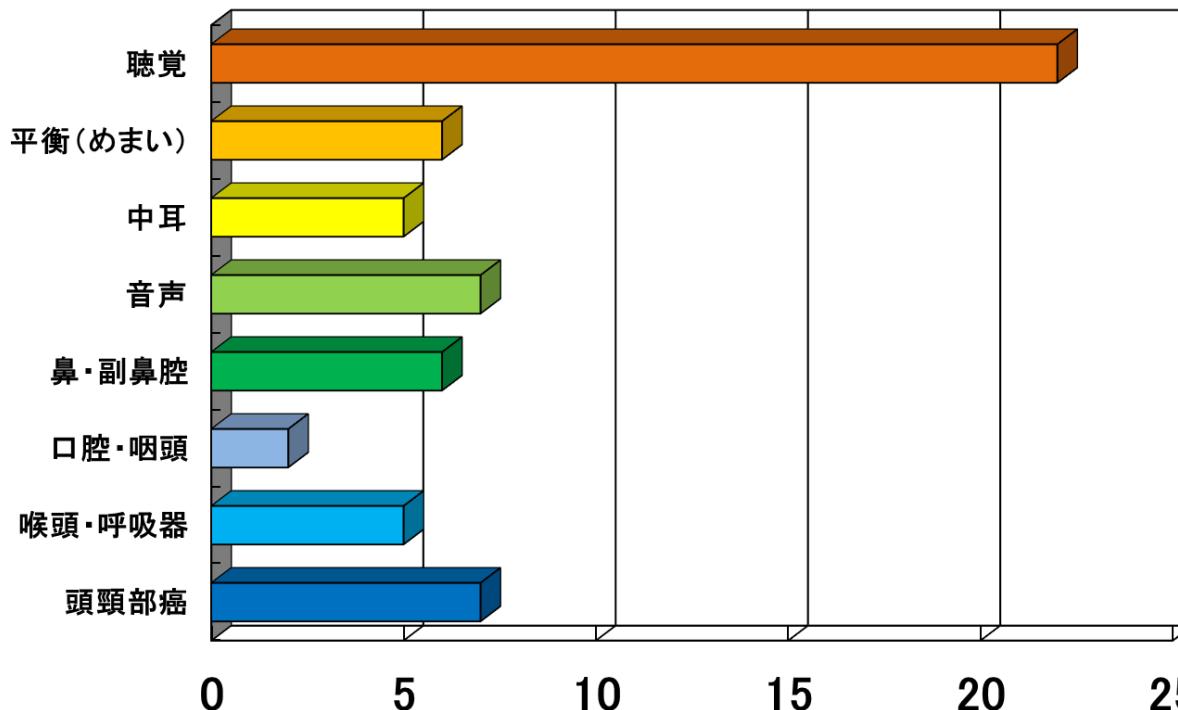
佐藤克郎<sup>1)</sup>、戸田巴琴<sup>2)</sup>

新潟医療福祉大学言語聴覚学科<sup>1)</sup>  
桔梗ヶ原病院リハビリテーション部<sup>2)</sup>

# 言語聴覚学科卒業研究ゼミ

- 希望指導教員に2~6名の学生が配属:  
3年次後期～卒業までの1年半で卒業研究論文執筆
- 2013～2024年度佐藤ゼミ:計60名の卒業研究を指導

## 卒業研究の分野



# 卒業研究関連の論文

- 1)佐藤克郎、高橋有希乃:雑音負荷による文章音読時の発声音圧、音読時間、基本周波数の変化の検討. 新潟市医師会報、517:1-7,2014
  - 2)佐藤克郎:言語聴覚学科と耳鼻咽喉科診療. JOHNS、31:114-116,2015
  - 3)佐藤克郎、宮澤詩奈:人工内耳装用児・装用者の語音聴取における雑音負荷の影響. 新潟市医師会報、528:2-7,2015
  - 4)佐藤克郎、寒河江沙樹:健聴者のVisual Memory Spanと読話能力の関係. 新潟市医師会報、535:2-4,2015
  - 5)佐藤克郎、山田智洋: I型アレルギー疾患に関する大学生へのアンケート調査. 新潟市医師会報、552:1-4,2017  
【調査年:2015年】
  - 6)佐藤克郎. 言語聴覚学分野における医師の関与:新潟市医師会報、564:1,2018
  - 7)佐藤克郎、北川原真也:新潟県新潟市の大学生を対象としたアレルギー性鼻炎に関するアンケート調査. 新潟市医師会報、580:2-6,2019【2017年】
  - 8)佐藤克郎、山本智夏:大学生のイヤホンまたはヘッドホンの使用状況と耳症状および聴力に関する調査. 新潟市医師会報、590:2-8,2020
  - 9)佐藤克郎、小林明日香:新潟市の大学生におけるアレルギー性鼻炎の現状. 新潟市医師会報、603:2-7,2021【2019年】
  - 10)佐藤克郎:若年層の聴力低下の問題. 子どもと発育発達、19:259-263,2022
  - 11)佐藤克郎、五十嵐萌子:めまいに関する大学生の意識調査—大学学部教育における研究へのCOVID-19の影響と今後の展望—新潟市医師会報、629:2-6,2023
- ★戸田巳琴:大学生を対象としたアレルギー性鼻炎と花粉症に関するアンケート調査. 新潟医療福祉大学言語聴覚学科卒業研究論文集、187-205,2025【2024年】

# 2024年最新調查結果

# 大学生を対象とした アレルギー性鼻炎と花粉症に 関するアンケート調査

新潟医療福祉大学  
リハビリテーション学部 言語聴覚学科

RSA21029

戸田巳琴

指導教員 佐藤克郎先生

# 対象・方法

- 対象: 2024年度新潟医療福祉大学言語聴覚学科在学生116名
- 性別: 男性 20名(17.2%)、女性 96名(82.8%)
- 年齢: 18~22歳(平均 19.4歳)
- 自己記入式アンケート: 14項目

アレルギー性鼻炎・花粉症に関するアンケート調査

年齢 歳  
性別【男・女】  
出身県【】

I. アレルギー性鼻炎または花粉症がありますか。当ではまるものに○をつけてください。  
① はい ② いいえ

II. ①で「①はい」に○をつけた方にお聞きします。  
1) いつ頃から発症しましたか。  
① 就学前 ② 小学生 ③ 中学生 ④ 高校生  
⑤ 大学生 ⑥ 不明

2) どのような症状がありますか。当ではまるものに○をつけてください。  
(複数回答可)  
① 鼻漏（鼻水）【水様性・粘性】  
② くしゃみ  
③ 鼻閉（鼻づまり）  
④ その他【】

3) 通年性・季節性のどちらですか。当ではまるものに○をつけてください。  
① 通年性 ② 季節性 ③ 両方

4) (3)で「季節性」に○をつけた方はどの季節ですか。(複数回答可)  
① 春 ② 夏 ③ 秋 ④ 冬

5) 原因は分かりますか。当ではまるものに○をつけてください。知っている範囲で構いません。(複数回答可)  
① 花粉（種類が分かれれば教えてください）  
② ハウスダスト  
③ ダニ  
④ その他（動物など）【】

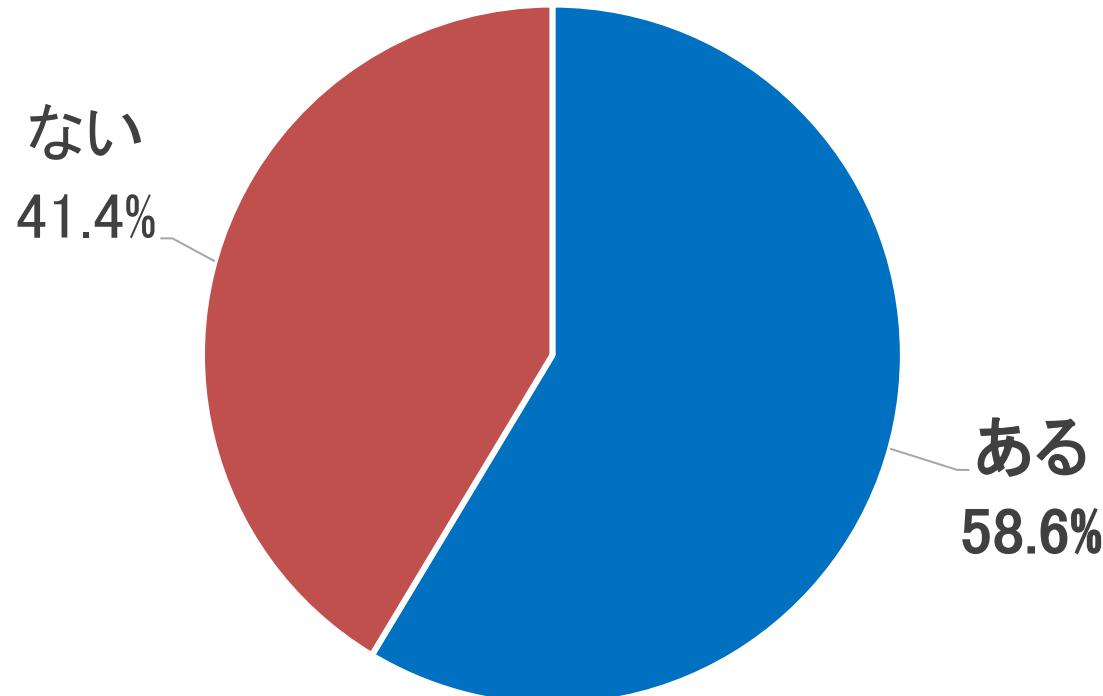
6) 新潟県外出身の方にお聞きします。新潟県に来てアレルギー性鼻炎または花粉症が増悪または緩和されたと感じましたか。当ではまるものに○をつけてください。  
① 増悪 ② 緩和 ③ 変化なし

裏面もあります

- 7) アレルギー性鼻炎または花粉症のほかにアレルギー性の疾患がある方は、当ではまるものに○をつけてください。(複数回答可)  
① アトピー性皮膚炎 ② 気管支喘息  
③ その他【】
- 8) 医療機関を受診したことがある方は、受診科はどこですか。当ではまるものに○を付けてください。  
① 内科 ② 小児科 ③ 耳鼻咽喉科 ④ 皮膚科  
⑤ その他【】
- 9) 治療法や薬の種類が分かる方は記載してください。薬の種類は一般用医薬品（市販業）と医療用医薬品に分けてください。知っている範囲で構いません。  
① 治療法【】  
② 一般用医薬品【】  
③ 医療用医薬品【】
- 10) 家族内でアレルギー性鼻炎または花粉症がある方はいらっしゃいますか。  
① いる ② いない
- 11) 新型コロナウィルス感染症 5類移行後、マスクは着用していますか。当ではまるものに○を付けてください。  
① 着用している ② 着用していない ③ 日によって異なる
- 12) 新型コロナウィルス感染症 5類移行後の外出頻度とアレルギー性鼻炎または花粉症の症状についてお聞きします。  
(1) 外出の頻度に変化はありましたか。当ではまるものに○を付けてください。  
① 増えた ② 減った ③ 変化なし  
(2) 5類移行前と比べてアレルギー性鼻炎または花粉症が増悪または緩和されたと感じましたか。当ではまるものに○を付けてください。  
① 増悪 ② 緩和 ③ 変化なし
- ご協力ありがとうございました。

# 有症率

戸田【2024調査】



過去他地域における有症率報告

西日本の小学校児童(西間ら, 2013)

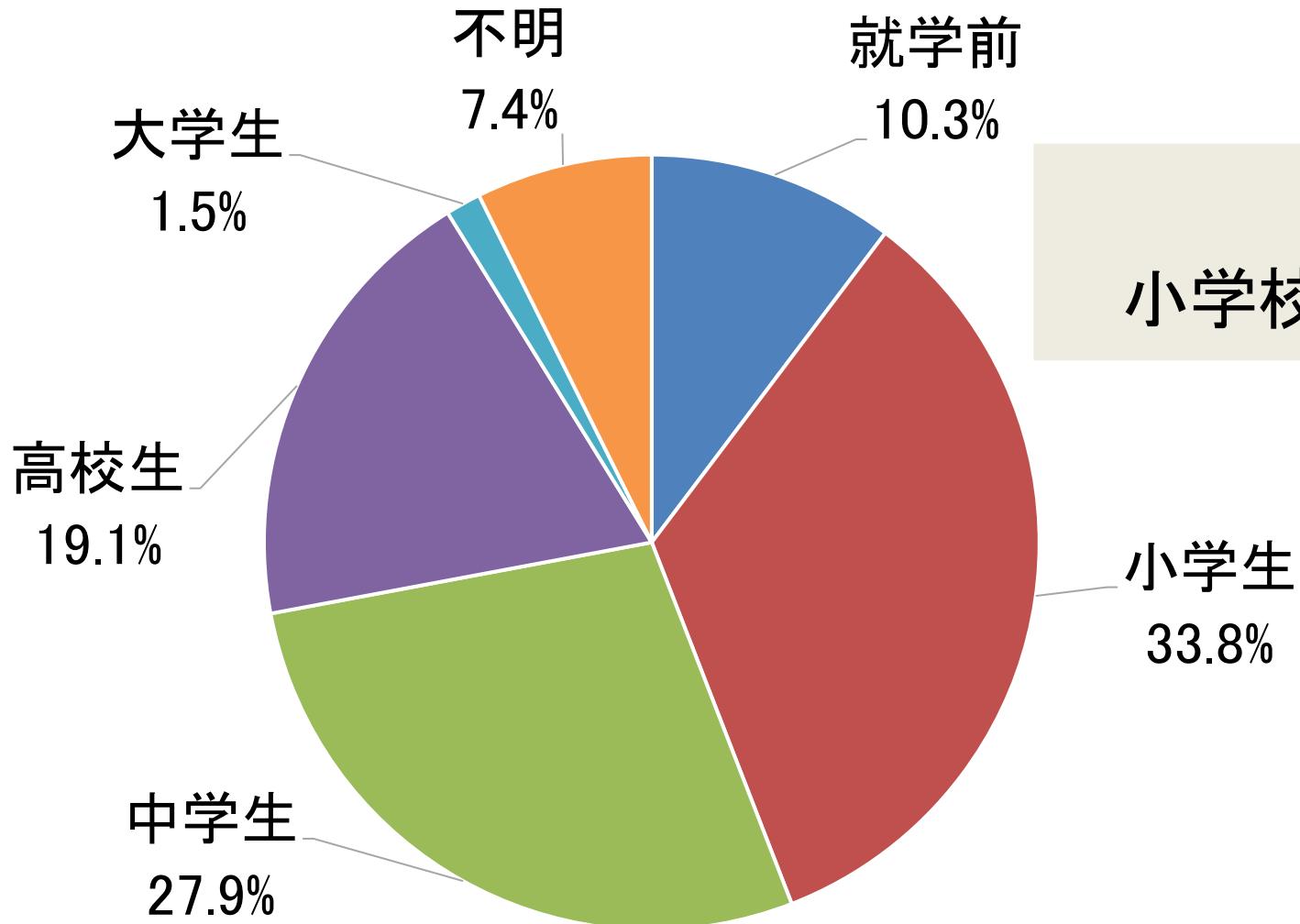
年	1992年	2002年	2012年
	15.9%	20.5%	28.1%

全国の耳鼻咽喉科医と家族(松原ら, 2020)

年	1992年	2008年	2019年
	29.8%	39.4%	49.2%

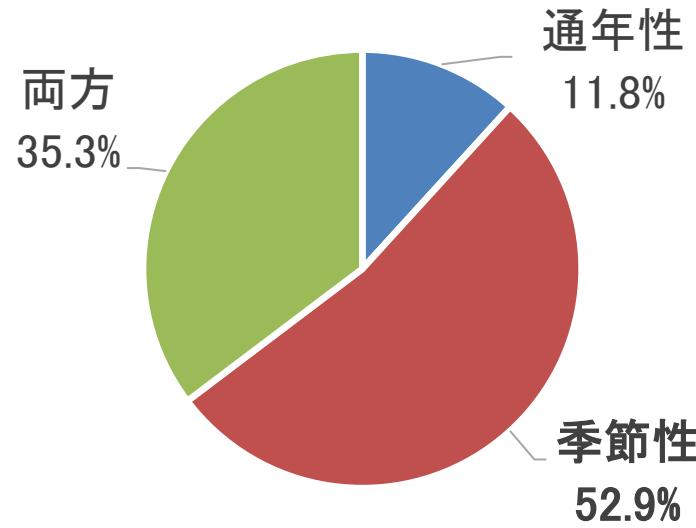
有症約6割⇒過去他地域の報告より高率

# 発症時期



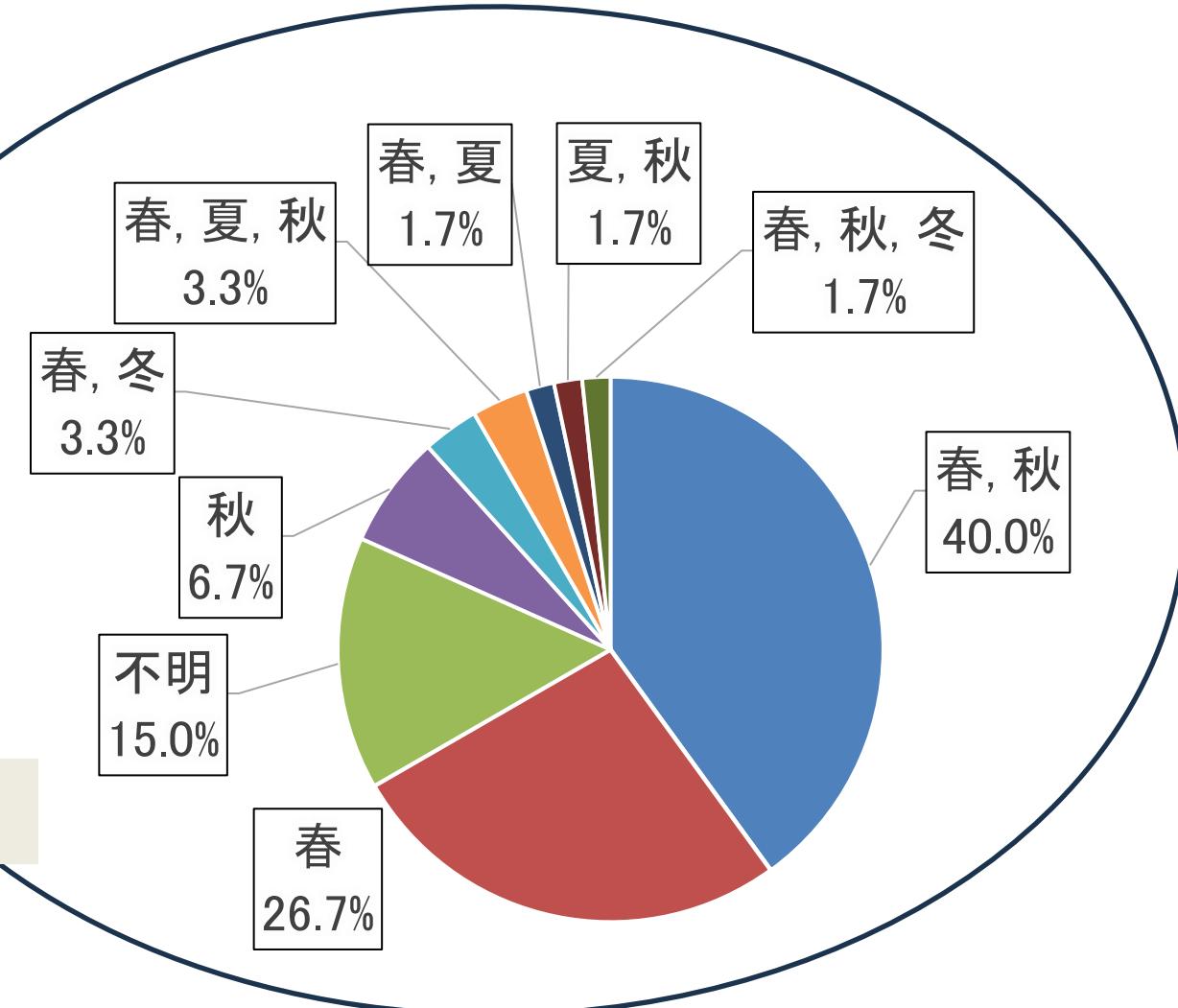
半数近くが  
小学校卒業までに発症

# 季節分類



- 春76.7%、秋53.3%
- スギ花粉93.3 %
- イネ33.3%

春の有症率に反映



# 10年間の調査結果からの知見

- 1)新潟における有症率推移
- 2)新潟県内外における季節分類
- 3)新潟への転居による症状変化

# 1)新潟における有症率推移

【過去の卒業研究】

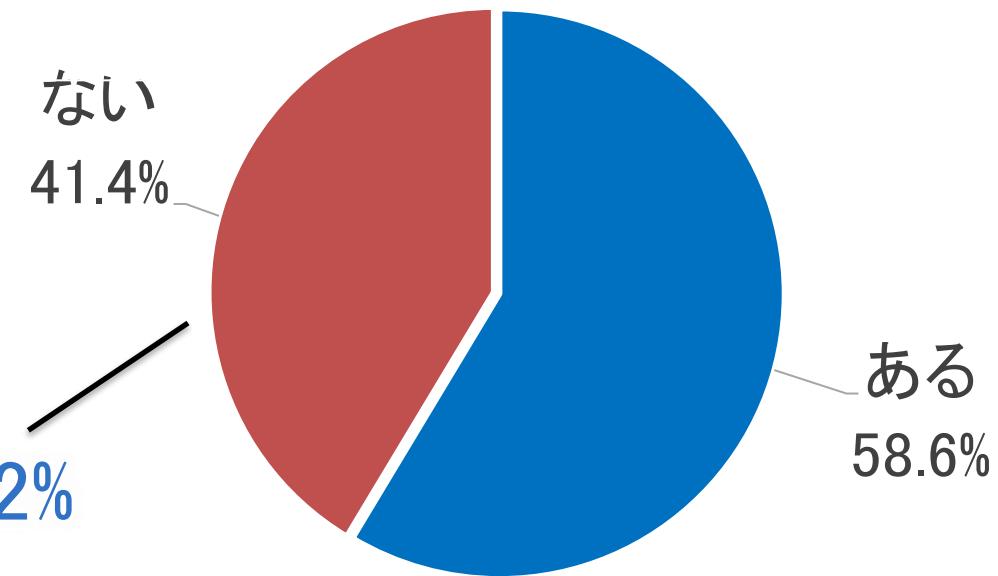
山田【2015調査】	北川原【2017調査】	小林【2019調査】
39%	51.6%	60.8%

+19%

+7%

-2%

戸田【2024調査】



新潟における大学生のアレルギー性鼻炎有症率増加  
→2020年前後で飽和状態

# 1)新潟における有症率推移

新潟県都市部におけるスギ花粉濃度の2~5月の平均値(環境省の花粉観測システム)



有症率増加の原因としてスギ花粉量が関与

## 2)新潟県内外における季節分類

新潟県内出身者

72.4%

6.9%

58.6%

0.0%

春

夏

秋

冬

新潟県外出身者

80.6%

6.5%

48.4%

9.7%

戸田【2024調査】

夏・秋が高率

春・冬が高率

### 3)新潟への転居による症状変化

3回の卒業研究における症状変化

北川原【2017調査】 33.9%が緩和

小林【2019調査】 50.0%が緩和

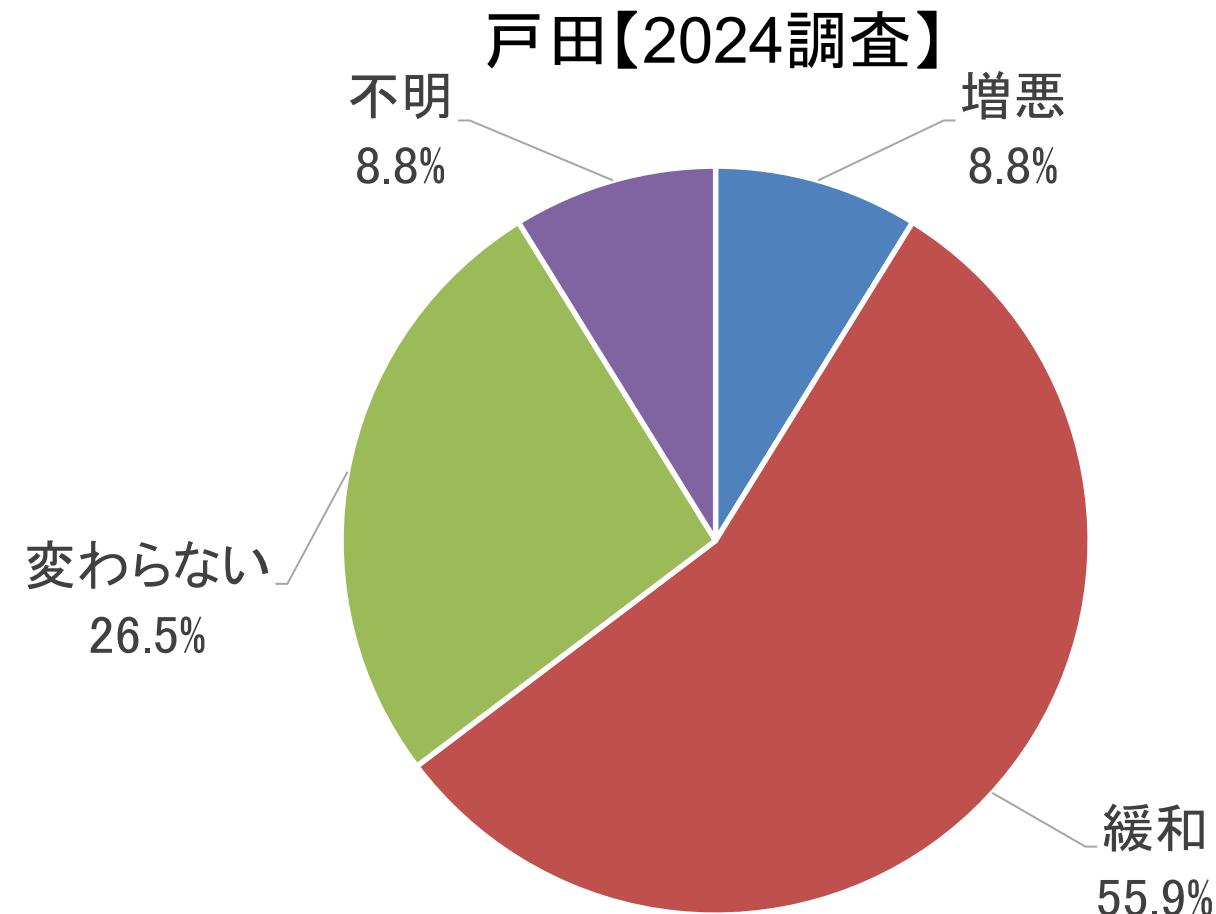
戸田【2024調査】 55.9%が緩和

新潟県外出身者が新潟県に転居



アレルギー性鼻炎の症状緩和

### 3)新潟への転居による症状変化



- 花粉観測システム(環境省, 2021年)

	山間部	都市部
新潟県	10.8	22.1
長野県	26.1	13.8
秋田県	53.1	9.5
山形県	8.2	36.4

(個/ $m^2$ )

- 2~5月の平均湿度(気象庁, 2024年)

新潟県	72.8
長野県	69.8
秋田県	71.3
山形県	67.8

(%)

新潟への転居によりアレルギー症状が緩和した理由

→県外出身地では花粉飛散量が多く平均湿度が低値

# 10年間の調査結果からの知見

- ・新潟における大学生のアレルギー性鼻炎有症率増加  
→2020年前後で飽和状態
- ・新潟県外出身者は春が多い傾向  
→スギ花粉が影響
- ・新潟県内出身者は夏と秋に多い傾向  
→ブタクサ、ヨモギなど夏～秋に飛散する花粉が影響
- ・新潟への転居によりアレルギー症状が緩和した理由  
→県外出身地では花粉飛散量が多く平均湿度が低値